

多摩永山中学校だより

編集・発行 校長 佐藤 信雄

<http://schit.net/tama/jhtamanagayama/>

よくやった

校長 佐藤 信雄

以前に、私が勉強もスポーツも得意ではない、さえない中学生だったことをお話ししましたが、それは中学生時代に限ったことではなく、小学生の頃も同様でした。特に小学生時代は、体も小さく、体力もなく、勉強への意欲も低く、いたづらをしてばかりで、その日の夜のテレビ番組のことばかり楽しみにしているような子どもでした。今回はそんな小学生時代の出来事をお話します。

小学校も高学年になると、体育や音楽、家庭科で専科の先生に教わるようになりますね。いつも担任の先生に教わっていた頃とは違う緊張を感じられる授業でした。音楽室や家庭科室で取り組む授業には、普通の教室とは違う雰囲気がありました。そしてその中で、新しく赴任された体育のN先生は、私たちに最も緊張感をもたらす先生でした。

N先生はおいでになった4月の最初の体育の授業に、手に持てるほどの小さめの太鼓とバチをもって現れました。初めてなので自己紹介などがあるんだろうなと思っていた私たちは、「何が始まるのだろう？」と顔を見合わせました。N先生は「太鼓が一つ鳴ったらしゃがみ、もう一つ鳴ったら立ち上がるように」と、簡潔な指示をされました。そして体操の隊形に開いた私たちに、太鼓の音が響きました。ドーン。しゃがむ。ドーン。立ち上がる。ドーン。またしゃがむ。ドーン。また立ち上がる。比較的ゆっくりでしたが、この繰り返しがいっまでも続けました。

そのうち、太ももやふくらはぎに痛みが走るようになってきました。周りからは「うっ」とか「いたた」という声も聞こえてきます。私も足の痛みには耐えかねていました。しかし太鼓の音は続きます。ドーン、ドーンと。

とても長く感じられましたが、おそらく10～15分ほどだったのだと思います。ようやく終了となり、みんなで校庭にしゃがみこんで足の痛みをこらえていました。今考えると、スクワットによる筋力の向上を図った運動だったのでしょう。しかし初めての筋トレは、運動神経の高い子にも低い子にも等しく「このN先生はコワイぞ」という緊張感を与えました。ですから、次の日から体育の授業には、私たちはだれ一人遅れたり遊んだりすることなく、チャイムが鳴る前に校庭に整列しているようになりました。本当にコワかったんですね。

さて、ある日の体育の授業でのこと。その日は腕立て伏せと腹筋を行い、めいめいが口頭で回数を申告することが行われました。私は筋力も体力もからっきしでしたから、たしか腕立て伏せも腹筋も、5～6回しかできなかった覚えがあります。みんなができた回数を口頭で述べるのを聞いていると、たった5～6回の自分が、たいへん情けなく感じられてきました。

帰宅した私はその日から、特に強い理由はなかったのですが、家で腕立て伏せと腹筋の練習を始めました。単に「ちょっとやってみるか？」という程度の、ほんの思い付きでした。テレビのアニメを見ながらやったり、お風呂に入る前にやったり、タイミングはまちまちでしたが、根気のない私にしては毎日続けることができました。

そして1か月ほどがたった頃、体育の授業で、また腕立て伏せと腹筋のテストがありました。前回と同じように、指定された時間の中で何回出来たかを先生に口頭で報告するやり方です。N先生は記録用紙に目を落としたまま、みんなの発表を聞き、記入しています。「佐藤！」と呼ばれた私は「27回」と答えました。N先生はペンを走らせていた手をふと止めて、一度視線を前に移すと、また記録用紙に目を落としざま、こういつてくださいました。

「よくやった。」そしてペンを走らせた後また「よくやった。」と静かに言われました。寡黙なN先生が生徒個人にコメントを返したのは、私だけでした。

この時私の胸に沸き上がった嬉しさは、それまで感じたことのないものでした。お年玉をたくさんもらった時のうれしさでも、みんなと遠足に出かける朝のうれしさでも、秋日和の放課後に遊んで遊んで感じたうれしさでも、テレビ番組で加藤茶のギャグを初めて見た時のうれしさでもないものでした。ただただ、何か満たされた喜びの感覚が私にはありました。今思えば、それは努力が成果をもたらし、その成果を認めてもらった時の喜びであったのでしょうか。しかも、最も苦手としていた運動の面で。生徒の皆さんにも、こんな体験がおりなのではないでしょうか？

人に認めてもらい、評価されることがどんなにうれしいか知った私は、このころから、自分なりにでしたが、努力というものをし始めるようになりました。無論、すぐに結果となって表れはしませんでしたし、怠けることも多くありました。ただ、あのN先生の「よくやった。」という言葉の思い出すと、もう少しだけやってみようという気になれたのです。そんな意欲を与えるような学校の先生になりたいと願い始めたのは、それからしばらくしてからでした。

私は、生徒の皆さんには喜びと意欲を感じてほしいと願って接していますが、なかなかうまくいかず、逆の結果になったこともあり、深く反省しています。しかし私はあきらめません。私は皆さんと喜びを分かち合いたいのですから。

第2学年 KPKA平和紙芝居出前講座 ♪幸せなら手をたたこう♪

2月8日(木)6校時、おなじみの恵泉女学園大学平和紙芝居研究会KPKAの皆様が、2年生への平和紙芝居の出前講座に来てくれました。今回も留学生の方がおいでです。台湾から留学中のキム・ウエインさんです。母国を離れて、母国語でない言語で歴史を紹介し、紙芝居を上演なさるのはとても大変なことと思いますが、とても丁寧な15年戦争の時代を説明してくださり、紙芝居『二度と』を上演なさってくださいました。胸に沁みわたりました。

授業冒頭はアイスブレイクで手遊び歌『始まるよ』からスタートしました。恥ずかしかったですが、ユーチューブを見て予習をしていたので、私も歌いました。その後、紙芝居の力を知ってもらうため、観客が参加して楽しめるタイプの紙芝居である『みんなでポン』を上演していただきました。続いて、平和や戦争という言葉から思い浮かぶことを自由連想であげていき、イメージを共有したところで、昭和の15年戦争の流れを勉強しました。そしてハイライトである『二度と』の上演です。楽しく始まり、深く、そしてしっとりと終わった前半でした。

後半は生徒の皆さんで班に分かれ、少しずつ分担して『二度と』の上演を体験し、感想を交換しました。「やってみると緊張した」「場面の転換が難しかった」と、上演する側に立った時に初めて体験できたことを語り合っていました。授業後の振り返りシートでは、「平和な未来を創るために、あなたには何ができると思いますか?」という問いかけに、真剣に考えて答えようとしてくれていました。最後は、みんなで立って輪になり、平和を願って作られた「しあわせなら手をたたこう」みんなで歌ってフィナーレとなりました。

2年生の生徒は楽しいことが大好きで、その場をノリで盛り上げることが得意な皆さんです。そんな皆さんが、KPKAの皆様が『二度と』を上演し始めると、授業冒頭の笑顔が消えて一気に真剣になり、物語の世界に入っていく姿がたいへんに印象的でした。これはKPKAの皆様の上演する力、紙芝居『二度と』の作品自体がもつ力に加えて、2年生の皆さん一人ひとりに、受け止める力がしっかりとあったおかげでもありましょう。

KPKAの皆様、KPKA顧問の岩佐玲子先生、今回もご多用の中おいでいただき、ありがとうございました。

※次回の平和紙芝居出前講座は、3月8日(金)の4校時に、3年生を対象に開かれます。3年生の保護者の皆様も、よろしかったら、ぜひご来校いただき、ご覧になってください。



「みんなでポン」は観客参加型



「微力であっても無力ではない」



原爆の惨禍を学びました



平和で浮かぶイメージは?



名作『二度と』



班ごとに上演です



さあ、みんなで輪になって!



♪しあわせなら手をたたこう♪

1年生は多摩市内へ、2年生は都内へ 校外学習

2月2日(金)、この日は総合体験学習の日ということで、1、2年生はそれぞれ多摩市内と東京都内へ校外学習に出かけました。晴天には恵まれましたが、朝のうちはとても寒気が強い日となりました。

両学年とも、自分たちで計画を立て、見学場所について詳しく調べ、当日は見学や体験を通して学び、実施後はまとめをして発表をするという、総合的な学習の時間や、行事で培った経験を最大限発揮する1日でした。

一部の班では、せっかく計画を立てたのになかなか計画通りに進まず、時間がおしてしまって苦労した班もあったようでしたが、それもよい経験として次に活かせるとよいですね。2年生では、朝の電車のラッシュを初めて目の当たりにし、電車を一本乗りそこねてしまった班もありました。朝の満員電車には、皆さんもきっとびっくりしたことでしょう。駅の通路なども通行する方がわき目もふらず速足で駆けていきます。これも新しい発見の一つです。1年生は来年の都内巡りに、2年生は来年の修学旅行に、それぞれ学んだこと、気づいたこと、驚いたこと、そして獲得したノウハウを大いに活かしてください。成功より失敗からこそ、多くの、そして貴重なことを学べるのですし。

2年生の都内巡り アラカルト



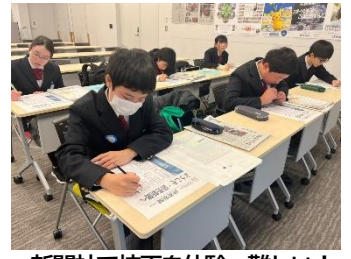
テレビ朝日でパチリ



仲良く次の目的地へ！



豊洲市場はやっぱりマグロ？



新聞社で校正を体験 難しい！



大学生と一緒に学食で lunch！



カレーと麺類が人気ですネ



世界の皆さんようこそ Welcome！



大学はおもむきがあるなあ

1年生の多摩市巡り アラカルト



消防車は勇士ですね



にこやかに縄文文化を楽しみます



素敵なお椅子でリラックス！



真剣に見学します。さすが！



多摩市は広いですね～



芸術作品の前で、パチリ



ご説明をしっかりとつかかいます



充実した一日です！

LGBTQ+出前講座～みんなちがってみんないい～



鈴木さんの分かりやすい講演

2月19日（月）6校時、第1学年を対象として、LGBTQ+出前講座～みんなちがってみんないい～が開催されました。この講演会は、TAMA女性センターと連携した企画です。当日は講師として、プライドハウス東京の理事であり、公立小学校の非常勤講師をされながらLGBTQ+の啓発活動や相談活動に当たっていらっしゃる、鈴木茂義さんをお招きしました。鈴木さんは、昨年夏には、多摩市教委委員会の主催する人権教育の研修会でも講師をお勤めになりました。

鈴木さんの講演では、多様性について基本的な理解を深め、それを基に自分のアイデンティティーと生き方を見つめることをねらいとしていました。その過程で、私たちが思い込みや固定観念を通して物事を理解していることに気がつくものでした。

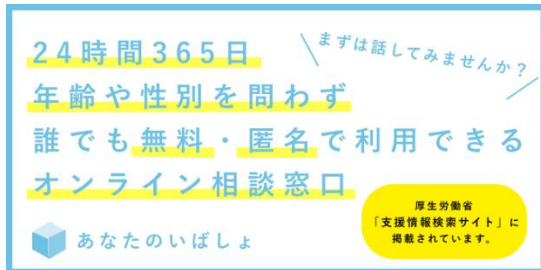
「本当に自分らしくあるということを追求めたとき、私たちは何に出会うのか」を明るく語っていただきました。また各種の相談窓口の紹介や、講演後に質問や相談を受け付けますと、生徒の皆さんに寄り添う姿勢を見せていただきました。講演後には、多摩市暮らしと文化部平和・人権課平和・人権・男女平等参画担当主査であり、TAMA女性センターで事業担当主査を兼ねていらっしゃる齋郷亮祐さんから、多摩市の取り組みの紹介をいただきました。

生徒の皆さんの年頃は、自分のアイデンティティーについて真剣に考え、模索を始める時期です。ぜひ、自分らしいアイデンティティーと生き方を追求していきましょう。私たちも応援します。

多摩市と学校からのお知らせ

今回は、相談窓口を新たにご案内いたします。一人で苦しんでいる場合は、若者も、大人も、ぜひどなたかに相談をなさってみてください。その相談先として、今回は2つご紹介します。

◆24時間365日誰でも無料・匿名 **あなたのいばしょ** 電話、チャットで相談できます
あなたのいばしょホームページ → <https://talkme.jp/>



「あなたのいばしょ」は、24時間365日、年齢や性別を問わず、無料・匿名で利用できるチャット相談窓口です。厚生労働省支援情報検索サイト登録窓口ですので安心して利用いただけます。最短5秒で国内外にいる「いばしょ相談員」が相談に応じます。(今後、本校ホームページに左の図のようなバナーを貼ることを準備しています。少々待ちください。) 皆さん、ほんの少しの勇気をもって、相談してみてください。必ず光がさしてきます。

◆まもろうよこころ ホームページ → <https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>



同じく厚生労働省相談窓口として開設されているのが「まもろうよこころ」です。冒頭には「悩みがある方・困っている方へあなたをサポートするためのさまざまな取り組みがあります。もしもあなたが悩みや不安を抱えて困っているときには、気軽に相談できる場所があります。相談方法もいろいろなものがあるので、ご希望の窓口を選んで話してみませんか?」とあります。た

くさんの電話窓口や、多種類のSNSにて対応してくれる相談窓口が設けられています。もちろんチャット相談も用意されています。まずはホームページをご覧ください。(こちらバナーを貼る予定です。)

躍進する部活動等 それ行け!たまなが中生!【敬称略】

○男子バスケットボール部

ながやま杯 2月4日

U-13の部 優勝

U-14の部 優秀選手賞 赤坂 龍臥(2年) 牛山 緋呂(2年)

U-13の部 優秀選手賞 鳴重 亮心(1年) 山元 盛雅(1年)

寒さの中、頑張りました。おめでとうございます。

○バドミントン部

多摩市中中学生バドミントン冬季学年別大会 2月4日

1年男子ダブルス 1位 安部 匠(1年)・河内 陽咲(1年) ペア

2位 浦住千尋(1年)・水沼 七稀(1年) ペア

練習の成果が実りましたね。おめでとうございます。

○3年生修学旅行

ホテル杉長Beefアワード2023 中学生の部 優勝 喫食肉量1人当たり平均362g

3年生は修学旅行でホテル杉長に宿泊しましたが、2日目の夕食がすき焼き食べ放題・お代わり自由でした。みんな笑顔で、お肉を美味しくたくさん食べたことで、2023年の第1位となり、表彰状とトロフィーが贈られました! ちなみに一人あたり362gですから生徒全員だと、ざっと37kgいただいたこととなります。



ご協力をありがとうございました エコキャップ運動 ユニセフ募金

生徒会が主催したユニセフ募金とエコキャップ運動に、生徒の皆さんや保護者の皆様から多くのご支援とご協力をを賜りました。心から御礼申し上げます。おかげをもって、ユニセフ募金は総額8,171円が寄せられました。エコキャップは10,032個(23.33kg)が寄せられました。これで途上国をはじめとする子ども達への支援に役立てることができます。この場をお借りして、みなさまに心から御礼申し上げます。ありがとうございました。